

町民の声への対応状況

平成 27 年 4 月受付分

受付月日	項目	意見の概要	対応・取り組み状況	担当課
4 月 1 日	ゲタ・ナラシ対策の加入要件について	<p>平成 27 年度からゲタ・ナラシ対策の対象者要件が変わります。農政局の資料によると、「ゲタ・ナラシ対策の交付対象者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者となっております。規模要件・年齢要件を問わないので認定農業者になってください。」となっています。</p> <p>しかし、北栄町の認定農業者の要件は、所得が 400 万円程度以上必要であり、水田を 1～2 ヘクタール耕作していても認定農業者にはなれず、ゲタ・ナラシ対策に加入できません。国が規模・年齢要件は問わずとっているのに、町のルールで加入できないものは如何なものでしょう。1～2 ヘクタール水</p>	<p>国が示す平成 27 年度以降のゲタ・ナラシ対策については ①認定農業者 ②集落営農 ③認定新規就農者という要件が課されます。規模要件はありません。ご意見としては①の認定農業者の所得要件が高く、水田農家にとって認定農業者になりにくいとのことだと推測します。この所得要件(年間 380 万円程度)のおおもとは「北栄町農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想」であり、金額としては鳥取県や中部近隣市町とほぼ同額です。最終的には町のルールとなりますが、この条件設定は農業経営基盤強化促進法第 6 条に基づき行われており、畑地も踏まえた北栄農業の「目安」としているため、所得要件を下げたり、撤廃することは困難です。北栄町が厳しい条件を課しているのではなく、国の対策の要件として「認定農業者」が使われていることが今回の問題であると考えます。ゲタ・ナラシ対策は米価が下落した現在重要な政策です。上記①が困難である場合、上記②についてのご検討をしていただくことも一つの方法だと考えます。2 戸以上の農家で</p>	産業振興課

		<p>田を個人で耕作している人は、地域農業の担い手ではないでしょうか。1～2ヘクタール水田耕作者は担い手として、ゲタ・ナラシ対策に加入できるようなべきではないでしょうか。</p>	<p>構成すれば可能です。町としては、1～2ヘクタールの方も、数十ヘクタールの方も、1アールの方も、面積に関わらず北栄町農業の大切な担い手であると考えています。今回のご意見は国に対して伝えてまいります。建設的な視点で、今後も営農を頑張ってもらいたい、お願いします。</p>	
4月23日	<p>プレミアム付きほくえい商品券について</p>	<p>4月19日ほくえい商品券が発売され、わずか1時間半で完売し、多くの方が入手できなかったと伺いました。その理由は、一世帯50万円という高額購入を可能とし、ほとんどの世帯が50万円分を購入されたためである。50万円なら200世帯、25万円なら400世帯で完売となります。行政が行う政策で、町民4,000世帯の1割以下しか恩恵を被らないこんな愚策・不公平な政策を行ってもいいのでしょうか？この商品券発行の目的は「地域経済</p>	<p>ご意見ありがとうございます。4月19日に発売されたプレミアム付きほくえい商品券は、北栄町商工会が販売し、町がプレミアム部分（20%、2,000万円）について支援するものです。この支援は、国の地方創生交付金を活用し支援するものですが、今回のプレミアム付きほくえい商品券は、主に消費の喚起を目的としております。昨年度（平成26年度）も町単独でプレミアム付き商品券の販売（発行総額3,300万円、プレミアム率1割）を支援してきましたが、従来から町内で取り組んできました購入限度額を1人3～5万円程度としたプレミアム付き商品券の販売では生活消耗品の購入にとどまり、町内の限られた店舗での利用に集中しております。今回のプレミアム商品券は、これまで消費喚起効果の</p>	産業振興課

		<p>の活性化と生活支援」のはずですが、こんなやり方で町民の生活支援になりますか？生活支援ならば、全家庭に一律に2万円でもわたるようにして、不要な世帯の商品券を一世帯2万円程度で販売する等、公平な町政を行っていただきたい。</p>	<p>なかった自動車の修理・販売、個人電気店、工務店等の店舗でもご利用いただき、町内の地域経済の活性化を目的として1家庭50万円の購入限度額となりました。</p> <p>また、今年度は同時期に鳥取県もプレミアム商品券を販売（1人当たり5万円、1世帯3人まで購入可）しており、町内の店舗でも活用できますので、生活消耗品を取り扱う店舗等での活用を期待しているところです。商工会からはプレミアム商品券の世帯数は370世帯で、購入限度額の50万円を購入されたのは131世帯との報告を受けております。財源に限りもあり先着順で販売致しましたので、売切れ次第販売終了となり、ご購入に訪れていただいたにも関わらず、残念ながら、ご購入いただけなかった方につきましてはたいへん申し訳ありませんが、事業の目的をご理解ください。いずれにいたしましても、この事業の効果や住民のみなさまからいただいたご意見を踏まえ事業の検証・評価を行い今後の事業へ活かしていきたいと考えています。</p>	
--	--	---	--	--